

連絡事項：有毒種のカレニア・ミキモトイが警戒密度を超えて確認されました。魚介類の管理にはくれぐれもご注意ください。

表1 津久見湾赤潮プランクトン調査結果(R6.7.23)

単位：細胞数／c c

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	溶存酸素 (mg/l)	シャットネラ spp.	カレニア ミキモトイ	ヘテロシグマ アカシオ	ゴニオラックス ポリグラマ
1. 津久見港 (港口)	12:45	0	26.4	-	-	0	4,880	0	0
2. 津久見港 (漁協浮棧橋)	12:52	0	26.9	-	-	0	900	0	0

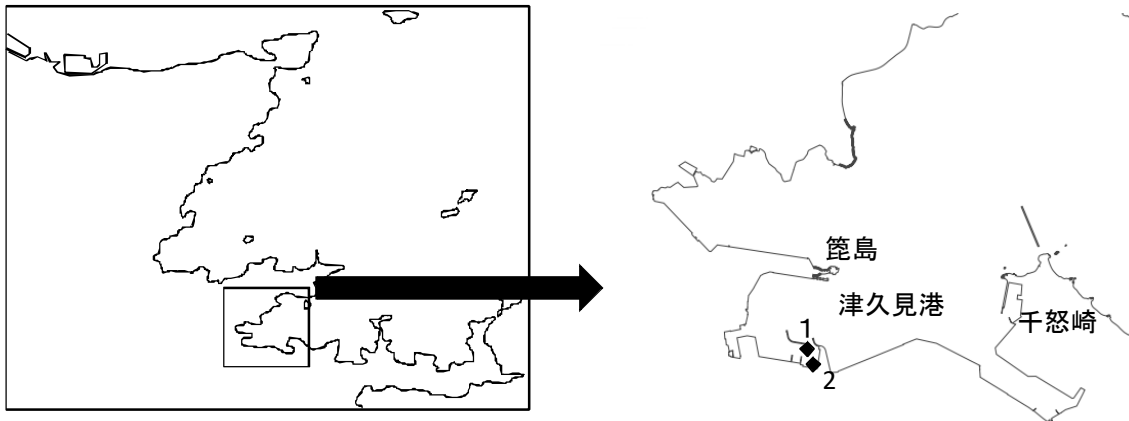
※地点1において中部振興局採水・検鏡

参考：赤潮注意・警戒密度 (単位：細胞数／c c)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コックロデニウム・ホリクイコイデス.	30以上	300以上

\* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

\* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とする。



※採水地点は目安です